

東北大学災害復興・地域再生重点研究事業構想

1 構想の背景 (事態收拾・復旧→復興・地域再生→持続的発展・飛躍)

～日本復興のために東北大学等の英知を結集して貢献

□ 東日本大震災(地震・津波・原発)の現場体験

□ 東日本大震災による被災からの復興・地域再生

□ 我が国の復興政策・学術政策上の位置付け

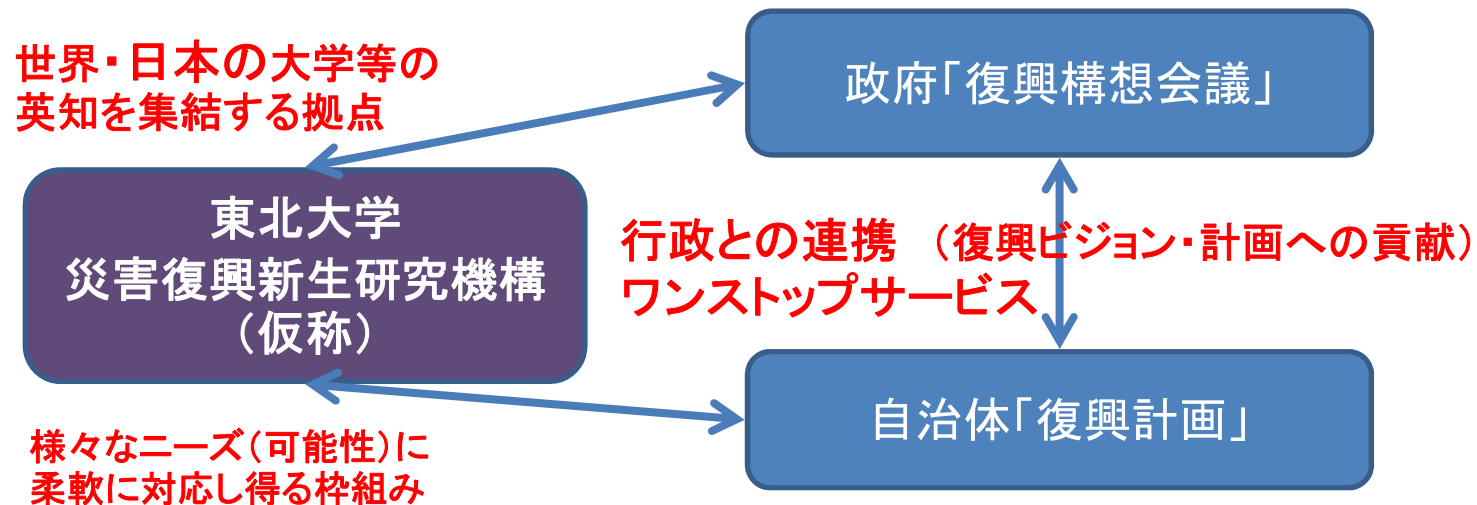
□ 人類共通の激甚災害復興問題への世界貢献

東北大学災害復興・地域再生重点研究事業構想

2 構想の概要

東北大学災害復興新生研究機構(仮称)の創設

大災害を体験した被災地の中核大学として、復興・地域再生を先導する研究に戦略的・組織的に取り組み、その成果を発信・実践



災害復興・地域再生研究及び実験拠点の形成

- モデルのフィールドへの適用(災害を契機とした社会的実験)
- 国、自治体、各種団体等との窓口の一本化(ワンストップ)

官民産学の連携による災害復興・地域再生の推進

東北大学災害復興・地域再生重点研究事業構想

3 東北大学の新たなる挑戦 ～Brand New Tohoku University

プロジェクトのスキーム

- 世界リーディングユニバーシティとして、大災害(地震・津波・原発)の体験と、研究センター大学の研究教育力を活かし、オンリーワン・プロジェクトによる新たな価値創造で日本再生に寄与

[アプローチ]

- ・横断的学際化(工学・理学・医学・農学・人文社会科学など)
 - ・課題解決型(防災、都市計画、災害に強い情報ネットワーク、地域医療体制、放射能、食物、産業、文化財など)
- できるだけ早期にマスタープランを策定・公表

東北大学災害復興・地域再生重点研究事業構想

4 プロジェクトの例

～次世代のために人と自然が共生し得る社会を！

- 安心安全共生都市構築プロジェクト
- 地震・津波対策プロジェクト
- 原子リスク対応プロジェクト
- 地域第一次産業再生プロジェクト
- 地域高次産業再生プロジェクト
- 革新的産業再生プロジェクト
- 医療・健康政策プロジェクト
- ライフライン再構築プロジェクト
- 情報通信基盤牽引プロジェクト
- エネルギー政策プロジェクト
- 文化・芸術保全プロジェクト
- 人財育成・活用プロジェクト
- 被災者・復興支援法制プロジェクト

大震災の復興・地域再生

未知なる大災害への対処

